

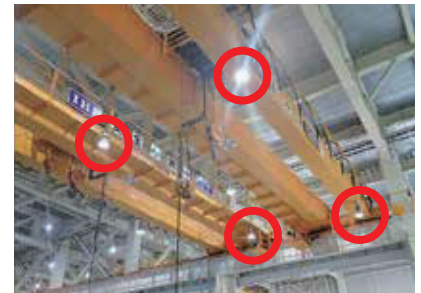
## 地球温暖化防止

エネルギー管理部門は、エネルギー効率のよい設備の導入や更新に向けた省エネチェックをはじめとする環境アセスメントを行なうとともに、各部門に対し、計画的な投資を促し、これまでの取り組み事例や最新の省エネ技術に基づいた適切なアドバイスを実施し、積極的に地球温暖化防止に努めています。2019年度は2013年度比CO<sub>2</sub>売上原単位※24%減の目標で取り組み、結果、24%減を達成しました。

※売上原単位：売上高に対するCO<sub>2</sub>の排出原単位

### クレーンガータランプLED化による電気使用量削減

工場内電灯のLED化は毎年計画的に進めていますが、2019年度には工場内で多数駆動しているクレーンに着目し、ガータランプのLED化にも取り組んだ結果、年間8,832kWh(45t-CO<sub>2</sub>相当)削減しました。

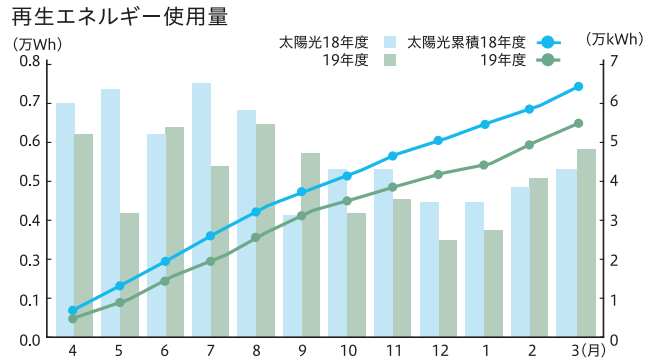


クレーンガータランプ

### 再生可能エネルギーの活用

2017年度から稼働している御殿場テクニカルセンターに設置した太陽光発電装置は、1年間で芝浦機械国内グループの全電気使用量の約0.1%に相当する約5.4万kWhを発電しました。

発電した電力は、御殿場工場で自己消費するほか、緊急時は、緊急本社機能設置場所の非常電源としても利用します。



### 資源の有効活用

工場から排出される廃棄物の最終処分量1%以下を目ざすとともに、環境アクションプランでは、2020年は基準年から17.5%の削減を目標としています。

2019年度は鋼くず・切削用廃液の減少で廃棄物排出量は3,257tで、256t減少しました。原単位評価では2.76t/億円となり2018年度の3.08t/億円から10%改善しました。工場保管エリア整流化活動により発生した廃棄物は138tであり社内管理数値としては、この分を差し引いて活動しています。

### CO<sub>2</sub>排出量と原単位実績、目標

